

緑の宝



2023
新年号
No.77



目次

会長挨拶	2
知事挨拶	3
特別支援学校緑の保全事業	4
緑の相談所	5
緑化巡回アドバイザー	6
ロボット芝刈機見学会、芝草管理講座、芝生教室	7
みどりのおたより	8
技士会だより、講演「イチョウの樹木学」	9
ガーデンフェスタ北海道 2022	10
特定外来生物クビアカツヤカミキリ	12
三保松原を守る	13
優秀施工者(国土交通大臣顕彰、知事表彰)、講演	14
啓発労働委員会より 若手技術者紹介	15
会員名簿	16



公益社団法人
静岡県造園緑化協会
会長 櫻井 淳

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

また、日ごろから当協会の運営に特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍で先が不安な中、ロシアのウクライナ侵攻に端を発し、政治、経済が混迷を深めています。一日も早く健康で平和な世界に戻ることを祈るばかりです。

さらに、地球温暖化の影響と思われる異常気象で大規模な自然災害が世界で頻発しています。昨年九月の台風十五号では、県内でも土砂災害、浸水など大きな被害をもたらしました。

改めて、被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

さて、コロナ禍で人流が抑制される中、密を避け公園などのオープンスペースでストレスを発散する人々が多く見受けられました。我々が関わる身近な公園や緑地などが、人々の健全な生活には欠かせない生活インフラであることが再認識

されました。

こうした中、SDGsの観点からも造園緑化業の果たす役割は益々重要になると考えており、その使命を果たすには、先人たちから引き継いだ造園技術を継承するとともに、新たなニーズにも応えられるよう、日々研鑽していく必要があります。

協会では、造園ならではの高所作業の安全向上と特殊伐採などの技術を習得するためツリークライミング研修を開催したほか、今年は都市樹木のリスク管理研修会などを開催し、会員の技術向上を図ってまいります。また、造園緑化業の担い手対策として農業高校からのインターンシップの学生受け入れに協力し、若者に造園緑化業の魅力を発信していきます。さらに、県内各地で開催される緑化祭に「緑の相談所」を開設するなどして都市緑化の普及啓発に取り組んでまいります。

本年も、協会会員の皆様のお力添えのもと、公益法人として、緑豊かな住みよい県土づくりに貢献してまいりますので、関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



静岡県知事

川勝 平太

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昭和四十一年の発足以来五十年以上にわたり、県内各地での緑化相談所の開設や緑化技術支援などを通じて、緑豊かな住みよい県土づくりに多大な御貢献をいただいていることに對しまして、改めて感謝申し上げます。

さて、地球温暖化による気候変動は、私たちの未来に対する大きな課題となっており、脱炭素社会の実現に向けた取組も加速しています。本県では、二〇五〇年までにカーボンニュートラルを目指し、令和四年三月に策定した「第四次静岡県地球温暖化対策実行計画」の柱の一つとして吸収源対策の推進を位置付け、適切な森林整備の促進に取り組むほか、公共的な場における緑化や持続的な緑化活動を担う人づくりに積極的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ続いており、癒やしや安らぎをもたらす身近な花や緑の存在は、県民の皆様にとつてますます欠かせないものとなっています。人々の価値観の変化に対応し、住み続けたいと思える花や緑あふれる豊かな暮らし空間の実現のためには、景観や環境に配慮した緑化樹種の選定や育成管理、効率的な芝生の維持管理など、高度な専門知識と技術を有する貴協会並びに会員の皆様のお力添えが不可欠であります。

また、静岡県は、昨年八月に、日本、中国、韓国の三ヶ国による文化芸術振興を図る取組である「二〇二三年東アジア文化都市」に選定されました。「多彩な文化が花開く」「ガーデンシアター」をコンセプトに、芸術のみならず、食文化、庭園文化など本県の多彩な文化を活用した最高のおもてなしで国内外からのお客様をお迎えし、日本の文化の中心、いわば「文化首都」として、本県をはじめとした日本の文化や芸術の魅力を世界に広く発信すべく、多彩な取組を進めてまいりますので、皆様におかれましては、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

特別支援学校 緑の保全事業

沼津視覚特別支援学校

浜松特別支援学校



花壇づくり/沼津視覚特別支援学校



地元町内会の皆さんと一緒に植え付け



出来上がった花壇に水やり



セルポットへ播種

平成二十七年年度から県立特別支援学校の緑化活動や校庭の樹木剪定などのお手伝いを各支部会員が行っています。協会では、児童生徒さんと一緒に緑化活動を行う緑化指導事業と、樹木の剪定等を行う協会事業の二つを実施しています。本年度も、県立特別支援学校三校（沼津視覚、浜松、天竜）で実施していますが、これまでに実施した活動をご紹介します。

令和四年十月十一日、学校玄関脇の花壇で花苗植栽をお手伝いしました。植栽を行ったのは、小学部二年生五名、地元自治会からも八名の方にお手伝い頂きました。協会からは東部支部の園植正園の半田健治さんにご協力頂きました。子どもたちは、半田さんから花の種類や植え方の指導を受けた後、中央に背の高いストック、ラバンジーの苗を植えていきま

最初は緊張していた子どもたちも、地域のみなさんが「何色を植える？」と問いかけると「赤色がいい！」「わたしは紫！」と思い思いの苗を受け取り、やさしくやさしく土を寄せて植え付け彩り豊かな花壇となりました。最後に、子どもたち全員から「色々なきれいな花を植えることができて楽しかった」などの感想を発表してくれました。

今後は、校庭の樹木剪定をお手伝いする予定です。

令和四年十月二十八日、卒業式に向けフラワーロードを準備しよう、高等部一年生の園芸班三名による播種作業のお手伝いをしました。講師をつとめた天龍造園建設（株）の新聞亭さん、内山智弘さん、山田明音さんから作業手順の説明を受けた後、セルポットにビオラ、パンジー、ナデシコの種播きをしました。プランターへの移植まで育苗をサポートするとともに、春休み頃に校庭の樹木剪定をお手伝いする予定です。

緑の相談所開設

環境緑化の普及啓発を目的に、例年春と秋に県内各地の園芸市などの会場で「緑の相談所」を開設し、協会員が来場者からの相談に答ええています。

会場では花の種の配布、種だんご作り、盆景体験など各支部で工夫を凝らして普及活動を行っています。



緑の相談所／浜松市 令和4年10月15日



緑の相談所／静岡市 令和4年11月5・6日



緑の相談所／焼津市 令和4年4月10日



花苗配布／沼津市 令和4年11月5日



緑の相談所／富士市 令和4年10月9日



盆景体験／富士宮市 令和4年10月15、16日



種だんご作り体験／富士市 令和4年10月9日

緑化巡回アドバイザー

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、緑化施設を当協会の会員が育成管理指導を行いました。

今年度の対象は、施工後二年目、三年目、五年目に加え、前年度の調査で経過観察が必要となった施設で、二十七か所を点検しました。内訳は芝生園地二十一か所、景観整備地六か所です。

調査は令和四年九月六日から二十一日までの期間に実施しました。

芝生園地は概ね良好でしたが、除草対策、目土やエアレーションによる植栽基盤の改良が必要な箇所もありました。初期段階における処置が望まれます。

景観整備地では、害虫や獣害を受けた生育不良木が目立ちました。いずれも、維持管理の継続が肝要であることを指導しました。



専任の管理者がいる生育良好な園地
新設園地で植栽基盤も柔らかい



チドメグサは抜き取りでは地を這う茎が残り再生するので除草は困難（芝専用除草剤が有効）



白線代わりに深刈りしてトラックを区分
当日は、園児が運動会の練習中



手播きの施肥で生育が不均一
散布機による均一な施肥が望ましい



モミジの根元には1cmほどの穿孔痕
調査時には着葉していたが来年は?



シカの食害を受けたウメ。周囲にはイノシシによる
掘り返しもあり伊豆は獣害が深刻

ロボット芝刈機見学会

令和四年八月二十四日、富士宮市



芝刈跡がわかるのは、お盆休みで草丈が伸びすぎたことによるもの

の富士宮北幼稚園で開催された、静岡県主催のロボット芝刈機見学会に参加しました。県は、芝生管理の負担軽減につながるロボット芝刈機の導入試験を県内三カ所で取り組んでおり、当日は、メーカーがロボットの能力や導入に伴うメリットなどを説明。モニターの幼稚園からは、園児がいない時間帯に稼働するよう設定し芝刈り担当の負担も減り雑草も少なくなつたと感想がありました。

芝草管理講座

静岡県と（公財）静岡県グリーン



会場は静岡県農林技術研究所（磐田市）

バンクが主催した「芝草管理講座」を会員も受講しました。講師は、静岡県芝草研究所の廿日出所長、池村研究主幹。参加者は、芝草管理のプロを目指すとうと五月から九月にかけて三回の講座で、芝草の基礎知識から、施肥管理、土壌判定、散水、ウィンターオーバーシーディング、害虫防除、管理機械の使用方法を学びました。

静岡県グリーンバンク 芝生教室

令和四年十一月九日、（公財）静



会場はIAIスタジアム日本平（静岡市清水区）

岡県グリーンバンク主催の芝生教室に参加しました。講師は、NPO法人グランドキーパーズのメンバー。午前は、芝生の基礎知識や芝生の整備方法の講義を受け、午後からは、管理機器の取扱いや芝刈、施肥、散水の演技を行いました。芝生を管理していくうえでの疑問や不安解消、解決の手助けになる有意義な教室でした。

日本芝草学会 静岡大会

日本芝草学会二〇二二年度秋季大会が、令和四年十一月十二日、



オンライン現地見学会では日本平ホテルの芝生庭園などを紹介

大会が、令和四年十一月十二日、十三日に静岡を舞台にオンラインで開催され、本協会も後援協力しました。「静岡・二十一世紀の芝生の多利用」をテーマに、現在の静岡県内の多様な芝生、地被植物の利用を論じ、SDGs・アフターコロナなど二十一世紀に求められる生活の中での役割を、利用面での広がりから考えました。

みどりのおたより

県環境ふれあい課

静岡県さくらの会(事務局 静岡県環境ふれあい課)では、桜の名所などの樹木診断に、さくら相談員を派遣する、さくら相談員派遣事業を行っております。

令和4年度も、市町からの依頼を受け、公益社団法人静岡県造園緑化協会様に推薦いただいた、さくら相談員を派遣し、十一月末ま



診断の様子 (浜松市)

でに三箇所で助言、指導を行いました。

浜松市、伊豆市の相談は、林齢が四十〜五十年以上経過し、腐朽による倒木が危惧されていた事例でした。診断し、腐朽の状況を調べた結果に基づき、個体ごとに、処置を指導しました。

管理を適切に行うことは、専門家でなければ難しいところもありますが、このように、さくらの会



診断の様子 (伊豆市)

の相談員のアドバイス聞きながら、適切に管理し、安全性を保ちながら桜の寿命を延ばすことは可能だと思います。

また、沼津市の相談では、林齢六十年ほどの桜について、倒木等の危険が考えられるため、桜の更新が検討されておりました。相談員が診断したところ、林齢が高いこともあり、やはり腐朽が確認され、そのまま維持していくには、管理が困難であることが分かりました。更に、桜は公園内にあり、人が多いことから、倒木の危険を



沼津市の公園

考慮し、若い木に更新していくことが一番よいとの結論になりました。

県内の桜の名所は老齢の桜が増えてきました。どうしても残したい歴史のある桜は、安全管理を徹底した上で、治療し長生きさせるようにする、そうでなければ、思い切った若い木に更新し、次の世代に引き継いでいく、そういった判断が必要な時期に来ているのかもしれない。

相談のあった事例では、地域の方々が愛着を持って熱心に管理しており、相談員へは、よく質問し、今後何をどうすればよいのかを、しっかりと確認されていました。

静岡県さくらの会では、今後もそのような課題をお持ちの皆様を支援するため、さくら相談員派遣事業や管理技術講習会等を通して、桜の保護育成を進めていきます。

技士会だより

第三十七回通常総会

令和四年八月二十三日(火)静岡県教育会館にて、「第三十七回静岡県造園施工管理技士会通常総会」が開催されました。出席会員は、総会員数八十名中、委任状六十三名を含む七十八名が出席。

はじめに、望月敦彦会長が挨拶に立ち、「緑化木を伐採する現場が多くなったが、講習会の開催を通じて技術者を支援し造園業界の繁

冒頭挨拶する望月会長

栄と技士会の発展に貢献していきたい」として会員の理解を求めました。

総会では、令和四年度の事業計画や予算などの提出議案が満場一致で可決されました。

議事終了後、国立博物館名誉研究員 理学博士 近田文弘先生が「イチヨウの樹木学」と題して講演しました。

講演「イチヨウの樹木学」



講師の近田文弘先生

イチヨウの枝には、長枝、短枝、萌芽枝があり、夫々の枝には特有の働きがある。特に萌芽枝は、強風などによる攪乱の際にはイチヨウを守る重要な役割を果たしている。

①長枝 長く伸びる枝の先端の頂芽から伸びる枝で、枝上の一定の間隔を置いて葉が並ぶ。毎年長く伸びてイチヨウの骨格を作る。

②短枝 普通、二年生の長枝の芽として現れ、一個の頂芽をつける。長枝と違って葉と葉の間に節間が伸びないので葉や花の柄は短い枝に束のように並んで着き、光合成と種子生産を行う。短命で十年位で枝から落ちる。



③萌芽枝 幹からだけでなく、幹の地際、根などから発生し他の樹木以上に樹体の維持に役立っている。イチヨウの幹が強風で折られた後では、折れ口から沢山の萌芽芽が伸びだして樹勢を回復する。これらの萌芽枝が森林の攪乱に耐えてイチヨウを守っている。



街路樹にイチヨウが植えられていることが多いが、強剪定に耐えるが故に、ブツブツと切られた所から芽吹いた枝が乱立していることも多い。管理者は樹木の特徴を理解したうえで生育環境と周囲の景観にも配慮した剪定方法を決定することが大切である。

ガーデンフェスタ北海道2022

〇概要

全国都市緑化北海道フェアは、「ガーデンフェスタ北海道2022」を愛称に、六月二十五日から七月二十四日まで、「花と緑〜恵みの庭を人がつながる北の大地から」をテーマに開催されました。恵庭市のメイン会場のほか、道内三十二ヶ所の協賛会場とともに開催。恵庭市は、市民主導による花のまちづくりが盛んで、「ガーデンシティ」として全国的にも知られ、街の大通りや商店街、個人の庭に至るまで花で飾られ、花と緑の美しいまちを作り上げている。

メイン会場「はなふる」エリア

メイン会場は、恵庭市の花の拠点「はなふる」周辺。年間百万人が訪れる道と川の駅のほか、ホテルも併設され、恵庭の「花の文化」「市民の文化」の魅力が集約された新たな観光スポットとなっている。道と川の駅からアーカイブプロムナードを進むとメインエリアへ。開放的な中央芝生広場を中心に、様々なコンセプトのテーマガーデンが展示されていた。



【アーカイブプロムナード】
全国の「花のまちづくり」のあゆみを紹介



【中央芝生広場】ステージではイベントを開催



【中央芝生広場花壇】北海道の初夏を彩る



【コンテナガーデンコンテスト】



【虹色の鳥】未来の恵庭に虹色の花が咲く



【自治体出展庭園】静岡県



【ハンギングバスケット】



【花ロードプロジェクト】恵み野駅近くの歩道

まちなかエリア



【市民花壇】会場隣の漁川から風そよぐ風景

かわまちエリア



【ブラック&ホワイトガーデン】

民間のエコロジーテーマパーク。敷地総面積百五十畝の大部分を畑地が占め最大千頭の羊を放牧。村内には四季折々の花が咲く英国式庭園「銀河庭園」やキャンプ場がある。テーマを持った各ガーデンは飽きが来ない。おとき話の世界に入り込んだような錯覚を覚え、まさにそこは「撮りたくなる庭」。

えこりん村(恵庭市)

【協賛会場】



【世界の百合広場】

札幌市北区の敷地面積約二十五畝の総合公園。昭和天皇陛下御在位五十年記念事業で造成された「世界の百合広場」には、この公園のシンボルである約百種類のユリが植栽されている。ユリの他にもライラックやチュウリップなど、多くの種類の植物がテーマを持った各々の花壇に植栽されている札幌市を代表するフラワーパーク。

百合が原公園(札幌市)



【ローズガーデン】

岩見沢市の南東部の丘陵地帯にあり約百八十三ヘクタールの広さを持つ大規模都市公園。広大な公園内には、遊園地のほか、バラ園や室内公園(色彩館)、野外音楽堂、キャンプ場、トリムコース、パークゴルフ場などの施設がある。誇り高き北国のバラ園を目指して約四畝の敷地内には約六百三十品種八千八百株のバラが咲く。

いわぎわ公園(岩見沢市)

特定外来生物
クビアカツヤカミキリ
～県内侵入を危惧～

外来生物クビアカツヤカミキリの国内侵入がはじめて確認されたのは二〇一一年の埼玉県。それから一〇年以上が経過した現在、本州や四国の多くの場所でサクラ、ウメ、モモなどのバラ科樹木を加害しています。

静岡県内では未確認ですが、隣接県では確認されていますので注意深くモニタリングする必要があります。県内での被害拡大を防止するために早期発見・早期駆除が肝要です。被害が発生していない時から、侵入を発見したらどうするかを樹木管理者が把握しておくことが求められています。

(参考文献「クビアカツヤカミキリの防除法」森林総合研究所のホームページで公開)

幼虫



木の皮の内側を猛烈な勢いで食い進む



十分に大きくなると木の材の部分に入る

成虫



【クビアカツヤカミキリ】

(特徴) 胸が赤色 体はつやのある青みがかった黒色

成虫の体長は3～4cm

(原産) 中国およびその周辺

(現状) 関東、中京、近畿、四国の

一・二都府県で確認

(生活史) 成虫は六～七月に出現

一頭当たり千個を超える産卵例あり。樹皮が滑らかな若木より

ゴツゴツした老木を好む傾向。

幼虫は生きた樹木の内樹皮と材を食い荒らして成長。幼虫の糞と木屑の混ざった鋸屑状のフラスが地際に積もる。

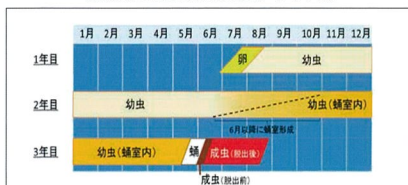
(被害) 一本の木を多くの幼虫が加害すると一年から数年で枯死

(防除) ・伐倒による幼虫駆除

・木に網を巻いて羽化する成虫を捕殺・伐倒燻蒸や樹幹注入による殺虫・樹皮への薬剤散布による成虫駆除

(注意) 特定外来生物につき飼育及び運搬等は法律によって制限されている。

栃木県のモモ園における生活環 (2年1化)



注) 画像や図は、国の森林総合研究所提供



サクラからでてきた太いフラス



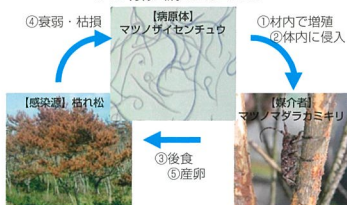
木屑を多く含む大量のフラス

三保松原を守る (マツ材線虫病対策)

三保松原は、マツ材線虫病被害が確認されてから長年に亘って防除対策を実施してきました。当協会でも、薬剤散布や老齢木の調査などのお手伝いをさせて頂いていただいたこともあり、現在の状況を一般財団法人三保松原保全研究所(令和元年設立)の古橋技術課長に伺いました。



<マツ材線虫病のメカニズム>



(背景・推移)十五年ほど前までは被害を維持していたが、平成十八年度に有人ヘリによる薬剤散布区域を地上散布に切り替えて以降、二年間で被害木が約十二倍に激増。その後も高止まりが続いたが、平成二十五年の世界文化遺産富士山の構成資産の登録を契機に、徹底した被害調査と無人ヘリによる空中散布を再開。

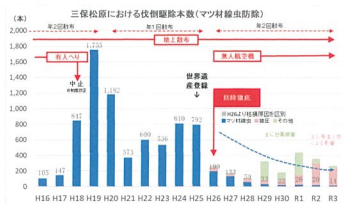
マツ材線虫病防除対策の三本柱

- ①伐倒駆除(感染源・枯れマツ対策)カミキリが羽化する五月下旬までに伐倒し破砕処理
- ②薬剤散布(媒介者…マツノミキリ)マツノミキリ対策…空中散布や地上散布を年二回(五月上旬、六月上旬)実施
- ③予防剤樹幹注入(病原体…マツノザイセンチュウ対策)マツの休眠期の一二月に注入



ドローンによる薬剤の空中散布

を徹底したことで、平成二十九年に、防除目標値(一畝あたりの伐倒駆除本数一本)以下を達成し、以降は被害が維持されている。



注) 画像及び図は、(一財)三保松原保全研究所提供

三保半島内にはまだマツ材線虫病が残っており、半島南部の被害は外部からの侵入の可能性が高いことから、油断せず徹底した防除を継続していくそうです。

優秀施工者 国土交通大臣顕彰

令和四年十月十八日（火）都内に
おいて優秀施工者国土交通大臣顕
彰（建設マスター）の式典が開催さ
れ、藤原造園㈱の高田和典（たかだ
かずのり）氏が受賞されました。

高田氏は、昭和六十二年に造園
会社へ入社し、以来三十五年余の
間、造園工事現場の第一線にあつ
て業務に精励し、常に技術・技能の
向上に努め、他の模範であつたこ
とが評価されました。



藤原造園㈱ 高田和典氏

建設産業構造改善推進のつどい

静岡県優秀施工者 知事表彰

令和四年九月八日（木）、静岡市
産学交流センターにて「令和四年
度建設産業構造改善推進のつど
い」が開催され、第一部の褒状授与
式で、天龍造園建設㈱の小林天竜
（こばやしてんりゅう）氏が表彰さ
れました。

小林氏は、数多くの造園工事に
携わり、植栽基盤調査や土壌改良
を提案・施工するなど造園業界の
発展に尽力しており、他の模範で
あったことが評価されました。



天龍造園建設㈱ 小林天竜氏

講演「時間外労働規制」

第二部では、「時間外労働規制」を
テーマに厚生労働省静岡労働局の
大石伊佐夫専門監督官が講演した。

・二〇二三年四月の時間外労働に
対する割増賃金率の引き上げに合
わせ、月六十時間を超える時間外
労働の割増賃金率は、中小企業で
も五十%に引き上げられる。

・二〇二四年四月からは、建設
業にも労働基準法の一般則が適
用され、時間外労働の上限が原則
四十五時間、年三百六十時間とな
り、違反した場合は罰則も科せら
れる。

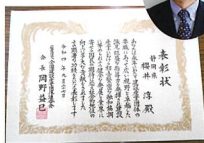


静岡労働局
専門監督官 大石伊佐夫氏

全国建設産業団体連合会 会長表彰

令和四年十月十八日（火）静岡県
建設産業団体連合会理事会の席上
において、全国建設産業団体連合
会会長表彰の伝達式が行われ当協
会会長の櫻井淳（さくらいじゅん）
氏が表彰されました。

櫻井淳氏は、静岡県造園緑化協
会及び静岡県建設産業団体連合会
の役員を務めるなど、永年に亘つ
て、建設業界発展のために尽力し
功績顕著であることが評価されま
した。



啓発労働委員会より 若手技術者紹介

啓発労働委員会では、造園緑化の将来を背負っていく担い手を応援しようと、若手技術者にスポットを当て仕事の魅力や将来の抱負を語ってもらいました。



永田舞さん(29歳)
吉田町 創基本造園

〔就職の動機〕小学校で地球温暖化問題の映像を見て自然環境に興味を持ちはじめ、中学生の頃に母親から「樹木匠」という仕事を教えてもらい将来の職業として意識。大学卒業時に、庭園デザインをやるにはまずは現場の経験が必要だと思い造園会社に就職。

〔仕事は〕一本一本の木の特性を観察しながら手入れすることが好きです。気持ちよく仕事ができるよ

う同僚とのコミュニケーションも大事にしている。

お客様から顔を覚えてもらい声を掛けてもらった時は次の仕事にもつながると思ううれしかった。

〔今後の抱負〕現代は、ストレスを抱えている人が多い。緑地帯を単なる背景の緑色としてではなく、風の音や生き物の鳴き声、木々の揺らぎなどを感じ、心静かにして本来の自分を取り戻せるような癒し空間を創造していきたい。大藤の移植の講演を聞き樹木匠の塚本こなみさんにあこがれ、各種資格を取得している。休日には、創造しながら庭園デザインを描いて楽しんでる。



民家の植木を手入れ



望月敬介さん(32歳)
静岡市 静岡岡緑地建設

〔就職の動機〕農業高校二年生の時、インターンシップ(当協会中部支部が学生の受け入れに協力)で造園の仕事を経験したところ楽しく感じたので造園会社に就職。

〔仕事は〕就職したての頃は、覚えることが多く苦労したが、造園の仕事が好きだったので続けてこれた。安全第一を優先し、そのうえで、お客様に仕上がり納得して頂けるよう仕事のクオリティを高めたいと思い日々努力している。先日、民家のシマトネリコの大木を無事移植し終えた時には、施主様が大事にしていた木だったのか、涙を浮かべながら感謝され達成感を感じ本当にうれしかった。

〔今後の抱負〕緑化木は生活に欠かせないもの。造園業に携わる者として、伝統的な技術は元より、全

国の新たな技術を修得するなど自己研鑽を重ね、よりよい景観形成に貢献していきたい。

会社には、先輩職員しかいないので早く後輩が欲しい。

休日は、2児のパパとして育児をサポート。マイホームを新築中で、自分なりの庭づくりに期待が膨らんでいる。



高所作業車を操作し民家の高木を伐採

公益社団法人静岡県造園緑化協会

会 員 名	所在地	電話番号	会 員 名	所在地	電話番号
栞愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	原田造園株	焼津市	054-624-2610
木村造園株	東伊豆町	0557-23-1635	良知樹園株	焼津市	054-624-1355
栞伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	栞富士島造園	焼津市	054-624-4007
栞広野園	伊東市	0557-37-3028	栞杉村造園	焼津市	054-624-4030
栞植源	伊東市	0557-45-0040	栞樹晃園	焼津市	054-624-8941
藤原造園株	熱海市	0557-81-4240	栞中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
西村造園株	熱海市	0557-82-7424	栞特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
大島造園土木栞静岡営業所	裾野市	055-997-2775	栞岩本造園	吉田町	0548-32-2507
栞富士見園	長泉町	055-986-6567	栞松浦造園	吉田町	0548-32-8887
栞植正園	沼津市	055-921-0945	栞雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
栞翠石園	富士市	0545-71-2236	田旗造園建設株	掛川市	0537-22-5951
栞大松園	富士市	0545-52-5220	栞桔梗庭苑	掛川市	0537-24-5577
栞常葉園	富士市	0545-35-0163	栞三宝園	掛川市	0537-24-4128
栞望月庭園	富士市	0545-21-5195	栞小澤造園	掛川市	0537-22-9052
栞やまと園芸	富士市	0545-38-1958	栞松月園	森町	0538-48-6431
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	栞香香園	袋井市	0538-24-7770
栞共立	富士市	0545-85-1213	栞片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
栞小林造園	富士宮市	0544-24-4533	栞ハッ代造園	袋井市	0538-43-4355
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	トヨタ緑産株	袋井市	0538-44-0400
栞岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	栞庭 仁	磐田市	0538-35-5528
栞丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	栞植 勘	磐田市	0538-34-3030
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	栞浮月園	磐田市	0538-38-0529
栞小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	栞永井造園	磐田市	0538-38-0500
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	栞稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
栞藤荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	栞松島園	磐田市	0538-38-0790
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	栞大東園	磐田市	0538-34-4163
不二見造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	栞昭花園	磐田市	0538-55-3392
栞興津グリーン	静岡市清水区	054-369-6477	栞東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	栞江間種苗園	浜松市中区	053-471-1727
栞ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	栞庭 明	浜松市中区	053-453-3311
栞森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	栞庭 勘	浜松市中区	053-455-3980
静岡観業株	静岡市葵区	054-261-2094	みどり園株	浜松市中区	053-456-1165
栞飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	栞太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
栞藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	栞大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
栞静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	天龍造園建設株	浜松市東区	053-421-1180
栞理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	赤塚産業株	浜松市東区	053-434-4332
栞西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	大協造園緑化株	浜松市西区	053-592-4500
ソーアイ造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	ナイス緑地株	浜松市西区	053-485-4631
栞小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	市川造園株	浜松市南区	053-449-4646
栞落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	大村造園建設株	浜松市北区	053-437-1128
栞静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	五常園布	浜松市浜北区	053-587-4838
加藤造園株	焼津市	054-628-3235	栞寿重植木	湖西市	053-579-0736

(賛助会員)

会 員 名	所在地	電話番号	会 員 名	所在地	電話番号
栞インブル	静岡市葵区	054-207-8171	栞アクティオ静岡支店	静岡市葵区	054-653-7181

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大穂町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号

Tel. 054-253-0586 URL <https://www.midorinotakara.org/>

令和5年1月発行
編集 啓発労働委員会
題字 乗松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに 森の町内会」の紙を使うことにより、林地に植えられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森づくりをサポートしています。